

■ 主要指標の動き ■

7月30日時点(1週間前=7月23日、3カ月前=4月30日、6カ月前=1月30日、1年前=2009年7月30日) なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

指標	先週末	騰落率(%)				
		週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	09年末比
先進国(除く日本)注1	3,906.37	▲0.1	▲5.2	3.3	13.0	▲0.8
新興国注2	1,761.97	▲0.0	▲9.5	3.3	10.2	▲5.3
日経平均株価	9,637.30	1.1	▲13.7	▲6.5	▲6.2	▲9.6
TOPIX(東証株価指数)	849.50	1.0	▲13.9	▲5.7	▲9.3	▲6.4
日経「ヤスタク」平均	1,221.90	0.5	▲9.3	0.9	1.1	3.8
東証マザーズ	398.48	2.3	▲21.1	▲3.4	▲14.3	▲4.3
NYダウ工業株30種	10,465.94	0.4	▲4.9	4.0	14.3	0.4
S&P 500種	1,101.60	▲0.1	▲7.2	2.6	11.6	▲1.2
ナスダック総合	2,254.70	▲0.7	▲8.4	5.0	13.6	▲0.6
英国 FT100	5,258.02	▲1.0	▲5.3	1.3	13.5	▲2.9
ドイツ DAX	6,147.97	▲0.3	0.2	9.6	14.7	3.2
フランス CAC40	3,643.14	1.0	▲4.6	▲2.6	6.0	▲7.4
中国 上海総合	2,637.50	2.5	▲8.1	▲11.8	▲20.6	▲19.5
中国 上海A株	2,764.36	2.5	▲8.1	▲11.8	▲20.7	▲19.6
中国 上海B株	237.59	2.8	▲3.9	▲2.1	11.5	▲5.9
香港 ハンセン	21,029.81	1.0	▲0.4	4.5	3.9	▲3.9
香港 ハンセン中国企業株(H株)	11,905.00	▲0.1	▲2.3	3.5	▲0.7	▲6.9
香港 ハンセン中国レッドチップ	4,020.02	0.2	0.6	3.7	▲1.8	▲1.0
台湾 加権	7,760.63	▲0.0	▲3.0	1.6	10.4	▲5.2
韓国 KOSPI	1,759.33	0.1	1.0	9.8	14.6	4.5
シンガポール ST	2,987.70	0.5	0.4	8.8	13.3	3.1
マレーシア FBMKLCI	1,360.92	1.1	1.1	8.1	17.3	6.9
タイ SET	855.83	1.9	12.1	22.9	37.6	16.5
インドネシア ジャカルタ総合	3,069.28	0.9	3.3	17.6	33.6	21.1
フィリピン 総合	3,426.95	0.3	4.2	16.0	23.9	12.3
ベトナム VN	493.91	▲1.3	▲8.9	2.5	9.3	▲0.2
インド SENSEX30種	17,868.29	▲1.4	1.8	9.2	16.1	2.3
豪州 ASX200	4,493.50	0.8	▲6.5	▲1.7	7.2	▲7.7
ニュージーランド NZSX浮動株50	3,034.62	1.3	▲7.7	▲4.1	1.4	▲6.1

指標	先週末	騰落率(%)				
		週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	09年末比
ブラジル ボベスバ	67,515.40	1.8	▲0.0	3.2	23.9	▲1.6
メキシコ ボルサ	32,308.74	▲1.5	▲1.2	6.3	20.5	0.6
アルゼンチン メルバル	2,394.16	0.8	▲0.1	4.2	41.1	3.2
ロシア RTS(米ドル建て)	1,479.73	2.1	▲5.9	0.4	47.8	2.4
ロシア MICEX	1,397.12	1.2	▲2.7	▲1.6	33.5	2.0
ポーランド ワルシャワWIG	42,464.68	0.4	▲1.9	6.0	20.7	6.2
ハンガリー ブダペスト証券	22,265.63	1.5	▲10.1	2.0	30.0	4.9
トルコ イスタンブール ナショナル100	59,866.75	1.0	1.5	9.5	41.9	13.3
南アフリカ FTSE/JSEアフリカ全株	28,355.21	▲0.2	▲1.0	6.3	17.8	2.5
エジプト CASE30	6,316.52	4.8	▲15.2	▲5.7	2.3	1.7

指標	先週末	騰落率(%)*				
		週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	09年末比
日本国債注3	307.62	0.2	1.8	2.6	3.9	2.6
先進国(除く日本)国債注4	295.06	0.7	▲6.2	▲4.0	▲7.2	▲7.4
新興国債券注5	540.94	▲0.4	▲3.1	5.2	8.2	2.0
日本国債10年物	1.07	▲0.00	▲0.22	▲0.25	▲0.32	▲0.22
米国債10年物	2.91	▲0.09	▲0.75	▲0.68	▲0.70	▲0.93
ドイツ国債10年物	2.67	▲0.04	▲0.35	▲0.53	▲0.76	▲0.72
東証REIT(配当込み)	1,294.19	1.1	▲6.8	4.4	0.6	6.5
S&PグローバルREIT指数(ヘッジなし・円ベース)	173.21	0.9	▲8.9	8.5	25.5	1.1
WTI先物	78.95	▲0.0	▲8.4	8.3	17.9	▲0.5
ニューヨーク金先物	1,181.70	▲0.5	0.1	9.1	26.4	7.8
ニューヨーク・プラチナ先物	1,576.80	2.5	▲9.6	4.7	32.6	8.0
ロイヤル・ダブリューズCRB指数	274.35	2.9	▲1.2	3.3	8.4	▲3.2
バルチック海運指数	1,967.00	7.7	▲41.4	▲30.9	▲42.9	▲34.5

* 「利回り」の騰落は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅
 ※ 右表の為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものであり、弊社投資信託の基準価額の算定に用いられるものと大きく異なることがあります。

為替(対円)	先週末	騰落率(%)				
		週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	09年末比
北米						
米ドル	86.47	▲1.1	▲7.9	▲4.2	▲9.5	▲7.0
カナダ・ドル	83.96	▲0.5	▲9.0	▲0.4	▲4.8	▲5.0
欧州						
ユーロ	112.85	▲0.0	▲9.6	▲9.8	▲16.1	▲15.3
英ポンド	135.67	0.6	▲5.4	▲6.0	▲13.9	▲9.8
スイス・フラン	83.06	0.2	▲4.7	▲2.4	▲5.5	▲7.6
スウェーデン・クローナ	11.99	0.2	▲7.4	▲1.9	▲7.0	▲7.8
アイスランド・クローネ	0.72	0.6	▲1.9	2.1	▲2.6	▲2.8
ノルウェー・クローネ	14.23	0.5	▲10.5	▲6.5	▲7.2	▲11.4
デンマーク・クローネ	15.13	▲0.1	▲9.8	▲10.0	▲16.3	▲15.5
アジア・オセアニア						
中国人民元	12.76	▲1.1	▲7.2	▲3.5	▲8.8	▲6.4
香港ドル	11.14	▲1.1	▲7.9	▲4.2	▲9.7	▲7.2
台湾ドル	2.71	▲0.6	▲9.7	▲4.2	▲7.0	▲6.9
韓国ウォン(100ウォン当たり)	7.31	▲0.1	▲13.4	▲5.9	▲5.5	▲8.8
シンガポール・ドル	63.57	▲0.4	▲7.2	▲0.9	▲3.9	▲4.0
マレーシア・リンギ	27.14	▲0.8	▲7.8	2.7	0.3	0.4
タイ・バーツ	2.68	▲1.2	▲7.6	▲1.4	▲4.4	▲3.8
インドネシア・ルピア(100ルピア当たり)	0.97	0.2	▲6.9	0.4	0.9	▲1.4
フィリピン・ペソ	1.90	0.8	▲10.0	▲1.8	▲4.7	▲5.9
ベトナム・ドン(10,000ドン当たり)	45.27	▲1.1	▲8.6	▲7.4	▲15.6	▲10.1
インド・ルピー	1.86	0.1	▲12.1	▲4.8	▲5.8	▲6.9
オーストラリア・ドル	78.17	▲0.2	▲9.9	▲2.0	▲0.9	▲6.3
ニュージーランド・ドル	62.75	▲1.3	▲8.0	▲0.8	0.7	▲6.7
中南米						
ブラジル・レアル	49.23	▲1.2	▲8.8	2.9	▲3.0	▲7.7
メキシコ・ペソ	6.83	▲0.5	▲10.4	▲0.9	▲5.1	▲3.9
アルゼンチン・ペソ	21.92	▲1.5	▲9.2	▲7.1	▲12.1	▲10.5
コロンビア・ペソ(10ペソ当たり)	0.47	0.2	▲2.3	3.0	0.3	2.9
東欧						
ロシア・ルーブル	2.86	▲0.8	▲11.0	▲3.8	▲5.7	▲7.6
ポーランド・ズロチ	28.14	1.2	▲11.4	▲8.9	▲13.0	▲13.0
ハンガリー・フォリント	0.40	1.5	▲14.2	▲13.7	▲20.7	▲19.1
ルーマニア・レイ	26.55	0.3	▲12.1	▲13.0	▲16.9	▲15.7
ウクライナ・フリヴナ	10.95	▲1.1	▲7.5	▲2.8	▲8.1	▲5.3
トルコ・リラ	57.36	▲0.2	▲9.0	▲4.9	▲11.2	▲7.6
その他						
南アフリカ・ランド	11.85	0.8	▲6.7	0.1	▲2.9	▲5.7
エジプト・ポンド	15.17	▲1.1	▲10.2	▲8.2	▲11.9	▲10.6
ナイジェリア・ナイラ	0.58	▲1.2	▲7.4	▲3.7	▲6.1	▲7.4
ガーナ・セディ	60.11	0.1	▲9.5	▲4.7	▲5.6	▲7.5
ボツワナ・プラ	12.67	0.0	▲8.3	▲4.5	▲9.5	▲9.3

(騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス▲の場合は円高)

注1 先進国(除く日本)株価指数 : MSCI-KOKUSAIインデックス(ヘッジなし・円ベース)

注2 新興国株価指数 : MSCIエマージング・マーケット・インデックス(米ドルベース)
 ただし、騰落率については、日興アセットマネジメントが円換算して算出

注3 日本国債指数 : シティグループ日本国債インデックス(円ベース)

注4 先進国(除く日本)国債指数 : シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

注5 新興国債券指数 : JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(ヘッジなし・米ドルベース)
 ただし、騰落率については、日興アセットマネジメントが円換算して算出

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

各指数に関する著作権・知的財産権
 その他一切の権利は、当該指数の
 算出元または公表元に帰属します。

データは過去のものであり、将来の
 運用成果などを約束するものでは
 ありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界の経済、金融・資本市場についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する見解は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

先週の主な出来事 (株式市場の反応を○、△、×の順で評価)

日付	市場の反応	国・地域	指標など(コメント)
7月26日(月)	△	日本	EU向けなどを中心に、輸出の伸びが鈍化 6月の輸出額速報値は前年同月比+27.7%と7か月連続の二桁増となり、市場予想(+23.5%)を上回ったが、伸び率は4か月連続で鈍化した。特に、EU(欧州連合)向けは+9.0%と前月の+17.4%から大きく鈍化した。日本の株式相場は、前週末に、欧州の銀行ストレステスト(健全性審査)の結果公表が波乱無く経過したことや、米株式相場が続伸したことを受けて上昇した。
			新築住宅販売件数は低水準ながら、予想を上回る 6月の新築住宅販売件数は前月(改定値)比+23.6%の年率換算33.0万戸と市場予想(31.0万戸)を上回った。伸び率は約30年ぶりの高水準ながら、件数は前月に続く過去2番目の低水準だった。
	△	世界	バーゼル銀行監督委員会が新自己資本規制の枠組みで合意 主要国の銀行監督当局で構成されるバーゼル銀行監督委員会は、各国の中央銀行総裁・銀行監督当局長官による会議において、新しい自己資本規制の枠組みで合意したと発表した。2009年末公表の当初案に比べ、資本算入基準が緩和されたことなどから、27日に日本や欧州などで銀行株が上昇した。
27日(火)	△	インド	今年4回目の利上げを決定 インド準備銀行(中央銀行)は、主要政策金利であるレポレートの引き上げ(5.50%→5.75%)を政策決定会合で決めた。利上げは、今回の引き締め局面で4回目。また、従来、四半期毎に開催してきた政策決定会合を、およそ1か月半に1度開催する方針を示した。
			×
28日(水)	×	米国	耐久財受注は予想外の減少 6月の耐久財受注額は、全体が前月(改定値)比▲1.0%、輸送用機器を除くベースでも▲0.6%と、いずれも市場予想(それぞれ、+1.0%、+0.4%)に反して減少した。全体の減少は2か月連続。また、FRB(連邦準備制度理事会)が地区連銀経済報告(ペー・ジュブック)で、一部地区での経済活動の横ばいないし拡大ペースの鈍化を指摘したこともあり、米株式相場が下落した。
29日(木)	○	ユーロ圏	景況感が2年4か月ぶりの高水準に ユーロ圏の7月の景況感指数速報値は前月比+2.3ポイントの101.3と市場予想(99.1)を上回り、2年4か月ぶりの高水準となった。また、ドイツの雇用統計の改善などもあり、為替市場でユーロが上昇した。

(右上に続く)

30日(金)	×	日本	鉱工業生産は市場予想に反して低下 6月の鉱工業生産指数速報値は前月比▲1.5%と市場予想(+0.2%)に反して4か月ぶりの減少となった。加えて、円高が進行したこともあり、日本株式相場が下落した。なお、6月の雇用関連統計では、失業率が前月比+0.1ポイントの5.3%に悪化した一方、有効求人倍率は+0.02ポイントの0.52倍へ改善した。また、6月の消費者物価指数は、生鮮食品を除くコア・ベースで前年同月比▲1.0%と下落率が2か月連続で縮小した。
	×	米国	GDP伸び率は2四半期連続で鈍化 4-6月期のGDP速報値は前期(改定値)比年率換算+2.4%と2四半期連続の伸び率鈍化となった。また、市場予想(+2.6%)も下回った。これを受けて米株式相場が下落したほか、円相場が一時、1ドル=85円台へ上昇した。ただし、シカゴ購買部協会の7月の製造業景況指数が予想外の改善となったことなどを受け、引けにかけて株式相場は値を戻した。

今週の主な注目点 (高:注目度大、中:注目度中、低:ご参考)

日付	市場の反応	国・地域	指標など(コメント)
8月2日(月)	高	米国	7月のISM(供給管理協会)製造業景況指数 6月は前月比▲3.5ポイントの56.2と2か月連続の低下。7月の市場予想は54.0と一段の低下が見込まれている。同指数は50が好不況の分かれ目。
3日(火)	中	米国	6月の製造業受注 5月は前月比▲1.4%と9か月ぶりの減少となった。6月の市場予想は▲0.3%となっている。
	高		6月の個人所得・消費支出 5月は、個人所得が前月比+0.4%、消費支出は+0.2%だった。6月の市場予想はそれぞれ、+0.2%、+0.1%といずれも伸びの鈍化が見込まれている。
4日(水)	中	米国	7月のISM非製造業景況指数 6月は前月比▲1.6ポイントの53.8と7か月ぶりの低下。7月の市場予想は53.0と一段の低下が見込まれている。同指数は50が好不況の分かれ目。
6日(金)	高	米国	7月の雇用統計 6月は、国勢調査関連の一時雇用が減少した影響などから、非農業部門雇用者数は前月比▲12.5万人と半年振りの減少となったが、民間部門では+8.3万人だった。また、失業率は前月比▲0.2ポイントの9.5%に改善した。7月の市場予想は、非農業部門雇用者数が▲6.0万人、うち民間部門が+9.0万人、失業率は9.6%となっている。

上表に掲載した以外に、日本では、企業の四半期決算発表が続く。また、オーストラリアで3日に、英国では4~5日に、ユーロ圏では5日に、中央銀行の金融政策会合が予定されているが、いずれも政策金利の据え置きが見込まれている。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界の経済、金融・資本市場についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する見解は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。